

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日： R6 年 11 月 6 日
研究課題名：異型腺細胞（atypical glandular cells ; AGC）症例の診断と管理 ―ハイリスク HPV 検査の有用性の検討―
研究期間：倫理審査承認後～西暦 2025 年 3 月
研究対象： 2015 年 1 月から 2021 年 12 月の期間で、子宮頸がん検診で AGC と判定され、当院を初診した方、および当院初診時の子宮頸部細胞診で AGC 判定となった方
対象材料 ☐病理材料（対象臓器名 ） ☐生検材料（対象臓器名 ） ☐血液材料 ☐遊離細胞 ☒その他（ 診療録 ） 上記材料の対象期間 西暦 2015 年 1 月～2021 年 12 月
意義・目的： 子宮頸部細胞診で AGC と診断された症例は、その原因となりうる疾患が多岐にわたり、進行がんが発見されることもあるため、慎重な管理を要します。当院における AGC 症例を後方視的に検討することにより、その中から実際にどのような疾患が見つまっているのかを調査し、それらの特徴からどのような点に注視しながら診断を行っていくべきかを検討します。またハイリスク HPV 検査が施行されている症例を後方視的に抽出し、この検査が AGC の診断において有用であるかどうかを調査し、今後の AGC 診断の一助となるかどうかを検討することを目的とします。
方法： 対象期間の 2015 年 1 月から 2021 年 12 月までに子宮頸がん検診で AGC と判定され、当院を初診した患者さん、および当院初診時の子宮頸部細胞診で AGC 判定となった患者さんの診療録を後方視的に調査し、当院初診後の精査方法、組織診断結果などを検討します。調査対象に該当する患者さんの診療録から研究データを抽出する場合には、パスワードを用い、暗号化された対応表及びデータベースを用い、別々に厳重に管理いたします。得られたデータについて学術報告を行い、今後の診断や管理につなげていきます。データは個人が特定されることがないよう匿名化し、情報は施設内で管理することと致します。研究終了後 3 年後にはデータをすべて破棄致します。診療外目的での使用について拒否される場合につきましては、お申し出ください。本研究について参加を希望されない方は下記問い合わせ先へご連絡ください。情報の提供をご希望されない患者さんの情報は利用いたしません。その場合も診療上の不利益が生じることはありません。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 産婦人科 野末彰子（代表番号 029-851-3511）